

アメリカ中・西部の農業をみて

—西部の巻—

札幌研究農場 三浦 梧楼



灌漑地帯でのサイレージ用とうもろこし。
冬作麦との2毛作
6月始播種9月中旬
黄熟に到達した
R. M115H、
(62t/ha当の作況)



温暖、乾燥地のせいもあるが、産室以外に建物はなく周年バドック飼育、仔牛は簡易なケージ飼い。



仔牛用ケージ、日よけの僅かな屋根とフィーダーがあるだけ。



乳牛の個体能力の追求はきびしい。14～15ヶ月齢で種付け、空腹で日量15kg以下の泌乳牛は淘汰しているところもあった。



カリフォルニアの“乾しぶどう”は有名だが、畦間にビニールを敷いて自然乾燥。